
遊戯王GX～覇王の生まれ変わり～

ポッキー・ボーイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX〜霸王の生まれ変わり〜

【Nコード】

N8201Z

【作者名】

ポッキー・ボーイ

【あらすじ】

アニメで死んだ霸王がマンガのGXに生まれ変わる。と言っても別に凶悪じゃ無いけど。

結局アニメではその後蘇ったけど細かい事は気にしない。

01話(前書き)

GX二作目です。よろしくお願いします。

早く魔法使いの軌跡を書け？

明後日ぐらいには更新してるとおもいます。

主人公が使ってるのはエレメンタルじゃなくてイービルです。

01話

やばい遅れちゃう、まさか行く途中で電車が停止するとは、とにかく急げーーーーー。

猛スピードで走り何とか試験会場へ、

「すみません、まだ入学試験やってますか？」

「まだやってると思うよ、ささ早く行きなさい。」

「ありがとうございます。」

私はお礼を言い試験会場に入る。

中に入ると、一人の少年がデュエルをしていた。

「E・HEROジ・アースの効果発動！！場のE・HEROアブソルートZeroを

生贄にしてアブソルートの攻撃力をジ・アースに加える。ジ・アースマグマ！！」

E・HEROジ・アース 攻2500 攻5000

「攻撃力5000！！ありえないノ〜ネ」

「ただだぜ先生、アブソルートの効果発動、このカードがフィールド上から離れた時、

相手フィールド上に存在するモンスターを全て破壊する。」

「わ、ワタクシの古代の機械巨人が……」

「そしてE・HEROジ・アースでダイレクトアタック！アースマ
グナスラッシュユー！！」

「ペ、ペペロンチーノ」

クロノスLPO

先生のライフがゼロになった瞬間、ドワツと歓声が巻き起こる。

「すげーぜ、あのクロノス教授を倒すなんて」

「今年の一年は強豪揃いだな」

クロノスサイド

ワタクシがこんなドロップアウトボーイに負けるなんて
いい笑い物なのーね

「あの一ー」

うるさいノーネワタクシはそれどころじゃ無いノーネ

「実技試験受けたいんですけど」

だから私はそれどころじゃ………実技試験！これなノーネ

「わかりました、では、フィールドに上がって欲しいノ〜ネ」

主人公サイド

なんとか実技試験してくれるみたい、良かった

「私は遊城秋ゆじきあきです。よろしく願いします。」

「遊城？さっきのドロップアウトボーイの双子ですか？」

「たぶん違うと思いますよ、一人っ子でしたので。」

「同じ名字でもあのドロップアウトボーイと違って礼儀正しいノネ、

私は教育主任のクロノスなノネ」

「でわ、始めるノネ」

「デュエル」

主人公LP4000 クロノスLP4000

「先行は譲るノネ」

「ありがとうございます、ではドロ、EーHEROダークネスマジシジャンを召喚ー!!」

EーHEROダークネスマジシジャン 攻1900 守1000

「ゲ！またヒーローなノネ」

「EーHEROダークネスマジシャンが召喚に成功した時デッキからダークフュージョンを手札に

加えます。一枚カードを伏せターンエンド。」

「ワタクシのターンドロ、可哀そうですね、飛ばして行くからね。

トロイホースを召喚し二重召喚発動！！トロイホースは地属性を生贄にして召喚する時、

二体分の生贄にできるのデース、トロイホースを生贄に古代の機械巨人を召喚します。」

古代の機械巨人 攻3000 守3000

「古代の機械巨人でEーHEROダークネスマジシャンを攻撃、アルティメットパウンド！！」

機械の巨人が容赦なくEーHEROダークネスマジシャンを叩き潰す

秋LP2900

「ワタクシはカードを一枚ふせて、ターンエンド」
「畏発動！悪魔の呼び声、

このカードは相手ターンのエンドフェイズに発動可能このターンに戦闘で破壊されたレベル4以下の EーHEROを手札に戻すか、

デッキからレベル4以下のEーHEROを手札に加える。のどちらかを選んで発動する。

私はレベル4以下のEーHEROを手札に加えるを選択します。

私はデッキからEーHEROバレットフェザーを手札に加えます。

「ターンエンドだね」

「私のターンドロ、手札からダークフュージョンを発動！！手札のEーHEROバレットフェザーと」

EーHEROプロミネンスガールをダークフュージョン！！

EーHEROフルバーストフェニックスを融合召喚！！」

EーHEROフルバーストフェニックス 攻2100 守1200

「EーHEROフルバーストフェニックスで古代の機械巨人を攻撃します。」

「血迷いましたか？と言いたいですーが、嫌な予感がするノーネ」

「EーHEROフルバーストフェニックスはこのカードより高い攻撃力のモンスターと

戦闘する時ダメージ計算を行わず破壊して、このカードより低い攻撃力のモンスターと

戦闘する時ダメージ計算を行わず破壊されます。」

「やっぱりなノーネ」

古代の機械巨人はスクラップになり破壊された

「私は、カードを一枚伏せターンエンドです。」

「ワタクシのターン、ドロー、そのモンスターを倒すには攻撃力2000以下のモンスターを出せば良いノーネ、

古代の機械騎士を召喚しマース」

古代の機械騎士 攻1800

「古代の機械騎士でフルバーストフェニックスを攻撃!!」

普通にフルバーストフェニックスが破壊された

「畏発動!イービルリカバリー、墓地のE-I-H-E-R-Oと名のついた融合モンスター一体と

ダークフュージョンを除外してデッキからダークコーリングを手札に加えます。」

「ワタクシはカードを一枚伏せターンエンドなノーネ」

「私のターン、ドロー、ダークコーリング発動!墓地のプロミネンスガールとダークネスマジシャンを

ダークフュージョン。E-I-H-E-R-Oマジシャンズ・コロナを融合召喚!!」

E-I-H-E-R-Oマジシャンズ・コロナ 攻3000 守2500

「E-I-H-E-R-Oマジシャンズ・コロナで古代の機械騎士を攻撃!!」

「甘いノーネ、ナポリタンよりも甘いノーネ、畏発動、攻撃の無力化。」

「E-I-H-E-R-Oマジシャンズ・コロナの効果、畏が発動される度
このモンスターの攻撃力が

1000下がります。」

E-I-H-E-R-Oマジシャンズ・コロナ 攻2000

「攻撃力が高いのはその効果があるからデスーカ？

私のターン、ドロー、産業革命を発動、デッキからレベル4の機械族を特殊召喚しまーす

二体目の古代の機械騎士を特殊召喚しまーす。

さらに融合を発動しまーす。二体の古代の機械騎士を融合！

古代の二槍騎士を融合召喚。」

古代の二槍騎士 攻2600 守2400

「古代の二槍騎士は二回攻撃ができ、ダメージステップ終了時まで魔法罠が使えないノーネ、これでワタクシの勝ちなノーネ

古代の二槍騎士でEーHEROMマジシャンズ・コロナを攻撃しまーす。」

古代の二槍騎士が二双のランスでEーHEROMマジシャンズ・コロナに

突進するが当たった瞬間古代の二槍騎士が粉碎された

「な、何で古代の二槍騎士が破壊されるーノ！！」

「先生、EーHEROMマジシャンズ・コロナの効果が罠が発動される度にこのモンスターの攻撃力が

1000下がるだけだと思いませんか？」

「また嫌な予感がするノーネ」

「EーHEROMマジシャンズ・コロナの効果は魔法が発動される度にこのモンスターの攻撃力が

1000上がるといふ効果も有るんです。」

「ワタクシが使った魔法は産業革命と融合の二枚、という事は……」

「攻撃力4000になります。」

クロノスLP2600

「むむむ…ターンエンドなノーネ」

「私のターナーHEROMマジシャンズ・コロナでダイレクトアタックです。」

「ペペロンチーノ」

クロノスLP0

先生のライフがゼロになった瞬間、また歓声が巻き起こる。

「あのクロノス教授が二回も負けるなんて。」

「今年の一年は強豪揃いだな」

あんまり目立つの好きじゃないんだけどな

ちなみに試験は合格し女の子はみんなオベリスクブルーに配属されるという事なのでオベリスクブルーになった。

オリ化紹介

EIHEROダークネスマジシャン

星4・闇属性・悪魔族・攻1900・守1000

【このカードが召喚に成功した時デッキからダークフュージョンを手札に加える事ができる。】

EIHEROバレットフェザー

星3・闇属性・悪魔族・攻1000・守1000
通常モンスター。フェザーマンのEーHERO版

EーHEROプロミネンスガール

星3・闇属性・悪魔族・攻1000・守1000

通常モンスター。バーストレディのEーHERO版

EーHEROフルバーストフェニックス

星6・闇属性・悪魔族・融合・攻2100・守1200

【EーHEROバレットフェザー+EーHEROプロミネンスガール

このカードが戦闘を行う場合

このカードより高い攻撃力のモンスターと戦闘する時ダメージ計算を行わず破壊する、

このカードより低い攻撃力のモンスターと戦闘する時ダメージ計算を行わず破壊される。

このカードの融合召喚はダークフュージョンでしか融合召喚できない。】

フェニックスガイのEーHERO版

EーHEROマジシャンズ・コロナ

星8・闇属性・悪魔族・融合・攻3000・守2500

【EーHEROダークネスマジシャン+EーHEROプロミネンスガール

魔法が発動される度にこのモンスターの攻撃力が1000上がる。畏が発動される度にこのモンスターの攻撃力が1000下がる。

このカードの融合召喚はダークフュージョンでしか融合召喚できない。】

悪魔の呼び声

畏カード

【このカードは相手ターンのエンドフェイズに発動可能。

このターンに戦闘で破壊されたレベル4以下のEーHEROを手札に戻すか、

デッキからレベル4以下のEーHEROを手札に加える。のどちらかを選んで発動する。】

イービルリカバリー

罨カード

【墓地のEーHEROと名のついた融合モンスター1体と

ダークフュージョンを除外してデッキからダークコーリングを手札に加える。】

ダークフュージョンとダークコーリングを知らない人

ダークフュージョン

通常魔法

手札・自分フィールド上から、融合モンスターカードによって決められた融合素材モンスターを墓地へ送り、悪魔族の融合モンスター1体を融合召喚扱いとして、エクストラデッキから特殊召喚する。このターン相手はこの効果で特殊召喚したモンスターを魔法・罨・モンスターの効果の対象にする事はできない。

ダークコーリング

通常魔法

自分の手札・墓地から、融合モンスターカードによって決められた融合素材モンスターをゲームから除外し、「ダーク・フュージョン」の効果でのみ特殊召喚できる融合モンスター1体を

「ダーク・フュージョン」による融合召喚扱いとしてエクストラデッキから特殊召喚する。

02話

遊城秋サイド

無事入学試験に合格し、入学式を終え、寮に着いたらいきなり校内放送がかかった。

『えー新入生の皆さん、入学していきなりですが、一年生交流戦をします。』

至急デュエル場を集まって下さい。』

本当にいきなりだなーと思うが行かない訳にはいけないので、渋々デュエル場に向かう事にした。

……あれ？デュエル場って何所？と言うよりここは何処？

もしかして私迷った。な訳無いよね、入学式の際にデュエル場の場所通ったし

道を間違えるなんて……無いよね？

遊城十代サイド

「迷ったああああー……」

ここ何処だよ、翔は先行っちゃったし。

くっそー、こうなるんだったらちゃんと翔に道聞いとくんだったぜ

「くりくり」

俺の相棒のハネクリボーがどこかに移動しだした

「おつハネクリボー！もしかしたデュエル場の場所が分かるのか？」

俺はハネクリボーの後をつけて行った。

遊城秋サイド

はあ〜ここは何処だろう、行けば行くほど森の中に入ってる気がする
「くりくり」ん？

声のする方を向くがそこには何も無かった………気のせい？

「ちょっと待てよハネクリボー、行けば行くほど森の中に入ってる
ぜ？」

すると突然オシリスレッドの生徒が飛び出して来た。

「ん？お前こんな所で何してるんだ？ひよっとしてお前も道に迷ったか？」

「そうなんです、ひよっとしてあなたも？」

「そうそう、俺は遊城十代、よろしくな。」

「私は遊城秋です。」

「ふうん同じ名字か、ここで会ったも何かの縁だろ、デュエルしようぜ。」

この人もいきなりだ…

「別に構わないけど…」

「じゃあ決まりだな」

「デュエル」

うーん、何か忘れてるような気が

遊城十代 LP4000 遊城秋 LP4000

「先行は貰うぜ、ドロ、俺はE・HEROエアーマンを召喚！」

E・HEROエアーマン 攻1800守300

「E・HEROエアーマンの効果でデッキからE・HERO オーシャンを手札に加える。」

そしてHEROsボンドを発動し手札から E・HERO オーシャンと

E・HERO ザ・ヒートを特殊召喚する。」

E・HERO オーシャン 攻1500守1200 E・HERO

ザ・ヒート 攻1600守1200

「E・HERO ザ・ヒートの攻撃力は、自分フィールド上に表側表示で存在する

「E・HERO」と名のついたモンスターの数×200ポイントアップするぜ」

E・HERO ザ・ヒート 攻2200守1200

「カードを一枚伏せターンエンド。」

1ターン目からモンスターが三体でそのうち一体が攻撃力2200かあキツイなあ

「私のターンドロー私はE・HERO ヘル・ブラットを特殊召喚します。」

E・HERO ヘル・ブラット 攻3000守600

「ああ！思いだした！お前入学試験ので俺の後に先生とデュエルした奴だろ。」

同じHEROを使うデュエリストとしてデュエルしてみたかった所だ。」

同じヒーロー……………！思い出したE・HERO ジ・アースの人だ。」

「私はE・HERO ヘル・ブラットを生贖にE・HERO マリシヤス・エッジを召喚します。」

E・HERO マリシヤス・エッジ 攻2600守1800

「E・HERO マリシャス・エッジでE・HERO ザ・ヒートを攻撃します。」

マリシャス・エッジの爪？がザ・ヒートを八つ裂きにする

十代LP3600

「私はカードを二枚伏せE・HERO ヘル・ブラットの効果で一枚ドローし

ターンエンドです。」

「俺のターンドロー、E・HERO オーシヤンの効果でE・HEROエアーマン

を手札に戻し再び召喚し、効果でデッキからE・HERO フォレストマンを

手札に加える。そして融合発動！場のE・HERO オーシヤンと手札のE・HERO フォレストマンを融合！来い俺のマイフェイバリット

E・HERO ジ・アース！！」

E・HERO ジ・アース 攻2500守2000

「E・HERO ジ・アースの効果、場のE・HEROエアーマンを生贖にしてその攻撃力を

加える事ができる。ジ・アースマグマ！！」

E・HERO ジ・アース 攻4300守2000

「E・HERO ジ・アースでE・HERO マリシャス・エッジを攻撃！

「アースマグナスラッシュュ!!!」

攻撃力4300のジ・アースにマリシヤス・エッジは成す術無くやられる

秋LP2300

「俺はこれでターンエン『畏発動!悪魔の呼び声、

このカードは相手ターンのエンドフェイズに発動可能このターンに戦闘で破壊されたレベル4以下の E I H E R O を手札に戻すか、

デッキからレベル4以下のE I H E R O を手札に加える。のどちらかを選んで発動します。

私はレベル4以下のE I H E R O を手札に加えるを選択します。

私はデッキからE I H E R O ダークボルトを手札に加えます。』
ド……」

「私のターンドロ、E I H E R O ダークネスマジシャンを召喚!効果によりデッキからダークフュージョンを手札に加えます。

そしてダークフュージョンを発動!手札のE I H E R O ダークボルトと

E I H E R O クレイガードナーをダークフュージョン!!

E I H E R O デストラクション・ザ・ライティングを融合召喚!

!」

E I H E R O デストラクション・ザ・ライティング 星6・攻24
00守1500

「E I H E R O デストラクション・ザ・ライティングの効果発動!

このモンスターが融合召喚に成功した時このモンスターのレベル

以上の相手モンスターを
すべて破壊する。」

「させないぜ、罨発動！地球大爆発！！自分の場に有る ジ・ア
スを墓地に送り

相手フィールド上のモンスターをすべて破壊する。」

「まじで？」

「まじで。」

「ターンエンド。」

「俺のターンドロー、手札から貪欲な壺を発動！墓地のE・HER
O ジ・アース

E・HEROエアーマン、E・HERO オーシャン、E・HE
RO フォレストマン

E・HERO ザ・ヒートをデッキに加え二枚ドロー。

俺はハネクリボーを召喚しカードを一枚伏せターンエンド。」

「私のターンドロー、手札からダークコーリングを発動墓地のE・
HERO マリシヤス・エツジと

E・HERO デストラクション・ザ・ライトニングを除外して

E・HERO マリシヤス・デビルを融合召喚！！」

E・HERO マリシヤス・デビル 攻3500守2100

「E・HERO マリシヤス・デビルでハネクリボーを攻撃！」

「悪いがこの勝負貰ったぜ、速効魔法、進化する翼を発動！」

手札を二枚捨てハネクリボーはLV10に進化!!
ハネクリボーLV10の効果、このカードを生贄にすることで相
手モンスターを

すべて破壊しその攻撃力分のダメージを与える。」

「まじで?」

「まじで。」

秋LPO

「楽しいデュエルだったな。」

「そうだね。」(ニコッ)

「ノノノノ!!! と、とにかくここから出ようぜ」

「そういえば何で迷ってたんだっけ?」

そこに学校内に響き渡る大きさの放送が流れだした

『え、一年生交流戦をさぼった遊城十代君と遊城秋さん、至急職員室に来なさい。』

「……………あ!」

オリカ紹介

E-IHERODAIKUBOLT

星4・闇属性・悪魔族・通常モンスター・攻1600・守1400
スパークマンのE-IHERO版

E-IHEROKUREIGADNAI

星4・闇属性・悪魔族・通常モンスター・攻800・守2000
クレイマンのE-IHERO版

E-IHERODESTRAKUSION・ザ・ライトニング

星6・闇属性・悪魔族・融合モンスター・攻2400・守1500

【E-IHERODAIKUBOLT+E-IHEROKUREIGADNAI

このモンスターが融合召喚に成功した時このモンスターのレベル
以上の相手モンスターを

すべて破壊する。

このモンスターの融合召喚はダークフュージョンでしか行えない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8201z/>

遊戯王GX～霸王の生まれ変わり～

2011年12月27日00時51分発行